

第4回府中市市民協働推進協議会 会議録

- 日時 平成25年8月6日(火)午後1時30分～5時
- 会場 市役所北庁舎3階第6会議室
- 出席者 (委員)
千賀会長、山崎副会長、太田委員、正満委員、田中委員、戸島委員、長谷部委員、原委員、日笠委員、村山委員
- (事務局)
中川市民協働推進本部長、村越市民活動支援課長兼市民協働推進担当主幹、岩田市民活動支援課長補佐、板橋市民協働推進担当副主幹、竹内支援係長、新妻市民協働推進担当主査、内藤事務職員
(オブザーバー)
松木府中NPO・ボランティア活動センター事務局長、多摩信用金庫 和田氏
(運営支援業者)
株式会社創建 大谷氏、本多氏、齊藤氏
- 欠席者 長島委員、八木委員、山上委員
- 傍聴者 3人
- 議事
- 1 開会
 - 2 議題
 - (1) グループインタビューについて
 - (2) 市民協働意識調査結果について
 - (3) 基本方針の策定に向けて
 - 3 その他
- 資料
- 1 市民協働に関する意識調査結果について
 - 2 他市事例

1 開会

(会長) 第4回府中市市民協働推進協議会を開会いたします。それではまず、事務局から本日の委員の出席状況などについて、報告をお願いします。

(事務局) 本日はご多忙のところ、本協議会にご出席いただき、ありがとうございます。それでは、事務局から何点かご報告を申し上げます。

まず、本日の出席状況でございますが、長島委員、八木委員、山上委員から欠席とのご連絡をいただいております。なお、長島委員は欠席ではございますが、オブザーバーとして多摩信用金庫より和田様にご参加いただいております。オブザーバーとしてご参加いただくことをご諮りいただきたいと思います。

(会長) 委員の皆さんにお諮りいたします。オブザーバーの参加を許可してよろしいでしょうか。

(※「異議なし」の声あり)

(委員) 質問ですが、今後委員の代理参加が可能ということでしょうか。

(会長) 代理ではなく、オブザーバーとしての参加になりますので、発言権、投票権はありません。協議の内容を委員へ伝えていただくこととなります。

(事務局) なお、本日は定数13名中10人の委員の皆様に出席をいただいております。したがって、過半数を超えておりますので、本協議会は有効に成立していることを併せてご報告します。

次に傍聴の関係ですが、本日、前半はグループインタビューになりますので、グループインタビュー終了後、後半の会議の開会時に改めてお諮りさせていただきたいと考えております。なお、現在までに3名の方の応募がありました。

(※事務局より資料の確認)

(会長) 次に、前回7月23日に実施した第3回目の協議会の議事録につきましては、事前にご確認いただいておりますが、改めて修正等でお気づきになることはございますか。よろしいでしょうか。

(※「異議なし」の声あり)

(会長) それでは、第3回目の協議会議事録として確定させていただきたいと思っております。前回の議事録及び資料を、市役所3階情報公開室、中央図書館、ホームページ等で公開いたします。

2 議事

(1) グループインタビューについて

(会長) 続きまして、グループインタビューの説明をお願いいたします。

(※創建よりグループインタビューの説明)

(会長) それでは、会議室で団体さんがお待ちですから、皆さん移動をお願いいたします。

(※グループインタビュー終了後)

(会長) グループインタビューお疲れ様でした。定刻になりましたので、第4回府中市市民協働推進協議会を再開いたします。

それでは、まず、事務局の方から傍聴者の状況について、報告をお願いします。

(事務局) 本日の傍聴ですが、先程お伝えしましたとおり、現在までに3人の方の応募があり、3人の方がいらっしゃっております。傍聴の許可につきまして、本協議会のご判断をいただきたいと存じます。

(会長) それでは、委員の皆さんにお諮りします。傍聴を許可してよろしいでしょうか。

(※「異議なし」の声あり)

(会長) それでは、異議がないということですので、傍聴者の入場を許可いたします。事務局をお願いします。

(事務局) ありがとうございます。それでは、傍聴希望者に入場いただきます。

(※傍聴者入場)

(会長) それでは、これより議題に入りたいと思います。議題の1 グループインタビューの結果発表ですが、創建さんから何かありますか。

(創建) 各グループよりたくさんご意見をいただき、また今後へ活かすことのできるキーワード等もありましたので、各グループの報告に期待させていただきたいと思います。

(会長) それでは、健康・福祉グループから概略の発表をお願いします。

(※健康・福祉グループ発表)

(委員) 健康・福祉グループとして、協働してよかったことは、団体の認知度が高まったことや参加者間で横のつながりができるようになったこと。課題としては、認知度がまだまだ低いこと。今後必要なこととしては、行政と団体、他の分野などとの横のつながりがまだ不十分であるため、情報の共有が重要。団体間や分野が違う主体を結び付ける

コーディネーター役が必要との意見があった。

(※環境・生活グループ発表)

(委員) 環境・生活グループとして、協働してよかったことは、活動資金や活動の援助が得られること、行政にとってもコストダウンになること。課題としては、市の担当者が変わると事業が止まってしまう、担当課以外との連携が難しいなど、市の体制や庁内の変化に市民団体が影響されること。今後必要なこととしては、学校や他団体との協働はあっても、分野が違ふと協働できていないため、市に一貫して市民団体に対応する窓口や中間支援組織、コーディネーター、担当職員を設けるなど対策を行ってほしいとの提案があった。また、団体、市がお互いを知り、信頼関係を築いていくこと、や他団体との連携、協働の在り方や認識の共有があげられた。

(※文化・学習グループ発表)

(委員) 文化・学習グループとしては、協働してよかったことは、協働することで地域づくりに貢献できていることや他団体、同種団体との横のつながりの活動があること。課題としては、市の予算の削減による資金不足、市とともに協働してきたため、収益事業のノウハウに欠けること、会員や事務局の少子高齢化による人材不足。今後必要なこととしては、市や他団体の事業実施予定等の情報がほしいとの意見があった。

(会長) ありがとうございます。これらの発表を踏まえて、お気づきの点などありましたらお願いします。

(委員) 資金について質問してみたのですが、市からの委託を受けている以上収益をあげても直接的な収入にはならないので、あまり積極的ではない印象を受けました。

(副会長) 補足させていただきますと、各団体はそれぞれの事業を立派に遂行されていますが、市民のニーズを正確に把握してはいないようにも感じます。団体には「行政の出先機関」という感覚があり、市から委託の要請があり、それをこなしているだけという印象です。他団体とのヨコの連携を持つことで相乗効果を上げることができるのではないかと考えられますが、一方で協働していく相手先がわからないということもあると思います。例えば、府中防犯協会ですと、地域の自治体や警察とのヨコの連携はうまくいっていますし、文化・学習の団体ですと市との連携、タテの連携はうまくいっています。こういったことを俯瞰して団体を結び付ける、コーディネーターの役割が必要ではない

かと考えます。

(委員) 本日は比較的大規模な団体が多いようでしたが、もし可能であれば、より小規模な団体の意向等を知ることはできますか。本日のインタビューの団体はリタイアした年代が中心となって運営しているところが多いのではないかと思います。若い年代が中心となっている団体へのアンケートなどがあれば興味深いと思います。

(事務局) 市としても、NPO・ボランティア活動センターの登録団体などから意見を聞くことができないかと、アンケートをお願いしております。NPO・ボランティア活動センターからアンケートの詳細を説明いたします。

(センター事務局長) NPO・ボランティア活動センターで7月20日から8月20日まで、利用団体へのアンケートを実施しております。基本的には施設利用に関するアンケートですが、協働に関する項目も盛り込んでおりますので、小規模な団体や今後協働を目指す団体にも意見を頂けると思います。まだ回収期間中ですので、回収・分析が終わりましたらご報告いたします。

(会長) ありがとうございます。本日は短時間ながら非常に良いヒアリングができたと思います。団体間のヨコのつながりという点が議題になっていましたが、それぞれの団体の活動はありながら、その大元である市民活動や協働の意味についての共通理解は未だ不十分であるように感じられました。そういったことも踏まえて今後この協議会の話題にしていきたいと思います。

(※質疑・意見交換終了)

(2) 市民協働意識調査結果について

(会長) 次に、議題の2 市民協働意識調査の結果について事務局からお願いします。

(事務局) 5月21日から6月7日まで、市民の皆様のお考えをお伺いするため、協働意識調査を実施しました。分析結果につきましては、コンサルタントよりご説明いたします。

(※創建より資料の説明(資料1 市民協働に関する意識調査結果について))

(会長) ありがとうございます。ただいま説明のあった市民意識調査について、ご質問やご意見等はございますか。

(委員) 回答数504件とありますが、統計として有効性があるのでしょうか。母数が少ないように感じますが。

(事務局) この調査は、まず市民の「協働」に対する率直な意見を得ることを目的として実施しました。市の施設や会議等での配布を合わせて1170件配布しており、このほか、市ホームページからのダウンロードをいただいております。504件の回答が得られたということで、回収率は把握できる限りで約43%と調査への反応は比較的良いと感じています。統計資料として、数は少ないかもしれませんが、ひとつの参考として見ていただければと思っています。

(会長) ありがとうございます。これらのご意見を踏まえて、次回も協議・検討を進めてまいりたいと存じますので、よろしく願いいたします。

(※質疑・意見交換終了)

(3) 基本方針の策定について

(会長) それでは次に、議題の3 基本計画の策定に向けてについて説明をお願いします。

(事務局) それでは、事務局より議題の(3)、「基本方針の策定に向けて」につきまして、ご説明させていただきます。

お手元の資料2をご覧ください。

これまで、当協議会では、市の協働に係る事業の取組状況や市民・職員の協働に対する意識などについて把握していただきました。また、先月は、先進事例として、横浜市の視察を行っていただきました。そしていよいよ、今後は、新たに策定する、府中市における「市民との協働に関する基本的な方針」について、議論していただくこととなります。

資料2の表、左側をご覧ください。こちらには、現行の「府中市NPO・ボランティア活動及び協働の推進に関する指針」で規定されております項目が掲げられております。これから検討していただきます新しい「基本的な方針」につきましては、これらの項目にとられることなく、不要なものは整理するとともに、新たに追加すべき事項は盛り込んでいただくなどし、「府中市らしい協働のカタチ」、方針についてご議論をいただけたらと思っています。なお、この議題は、『基本的な方針』の内容もさることながら、本格的な議論に入っていく前に、『どのように議論を進め、どのように方針を取りまとめていくか』といった、今後の協議会の方向性を定める重要な議題となりますが、本日は会議時間も多くはございませんので、結論につきましては、次回9月の会議でとりまとめていただきたいと思いますと考えております。

したがって、本日はブレインストーミングといえますか、事務局が言うのはばかられるのですが、まず、自由な感じで方向性について

ご議論・ご意見交換等いただけたらと考えております。その上で、この資料2の表の右側が空欄となっておりますが、こちらを本日の宿題とさせていただきます、これまでの会議や視察、また、本日の意見交換を踏まえ、各委員さんがお考えになる、新たな方針の在り方やまとめ方等についてのご意見等を記入いただきまして、今月20日（火）頃を目途に、事務局へ提出いただきたいと考えております。提出いただいた内容を踏まえて、事務局で次回の会議に提案する資料に反映をさせていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

なお、最後にスケジュールを確認いただきたいのですが、12月中旬に、「基本的な方針」の素案のパブリック・コメント手続を実施する予定です。実質10月から12月までの3回で内容を固めていくこととなります。事務局も精一杯努力いたしますので、改めてよろしく願いしたいと考えております。

では、引き続き、コンサルタントの方から、協働に関する指針等の先進事例について、いくつか紹介させていただきますので、検討の際にご参照いただけたらと考えております。それでは、お願いします。

(※創建より資料の説明（資料2 他市事例）)

(会長) ありがとうございます。基本方針の策定に向けて、事例やプロセスをご説明いただきましたが、協議会のスケジュールをご確認いただきたいのですが、12月までに具体的な方針の決定、パブリックコメントの実施となります。市の意向として、我々協議会の委員が自主的に方針を策定するということですので、次回までの宿題としてまず基本方針の項目等をご提案いただくこととし、そのための参考として他市の事例を紹介していただきました。何か、ご質問やご意見はありますか。

(委員) 第5回と第6回協議会の違いはどのような点でしょうか。

(事務局) まず基本方針、「府中市らしい」方向性というものを定めた上で素案をお示しし、具体的な検討に移るイメージでおります。今回の宿題で提出いただいた意見をもとに、素案とまではいきませんが、何かたたき台となるようなものを早ければ9月の協議会でお示しできればと思っています。

(委員) 方向性を定めるのも重要ですが、その前段階として、今回のインタビュー等を踏まえて、「府中らしさ」や「協働とはどのようなものか」を委員でディスカッションをする時間を設けることも必要ではないでしょうか。

(委員) 例えば障害者などの市民や市民団体と、市役所の職員とが実際に話

し合える場を設けてもらいたいのですが、協議会の開催日程としては難しいでしょうか。

(事務局) 協議会ではまず総論となる基本方針を固め、各論の具体的な施策の検討に入っていくことになると思います。具体的な取組を考える際に必要になれば、市職員も参加してディスカッション、ヒアリング、シンポジウム等の場を設けていくことも可能ですし、事務局側としては職員の意識啓発も並行して行っていく予定であります。将来的にはそのようなことも可能ということを理解していただいた上で、まずは委員の皆さんで総論を検討していただければと思います。

(会長) わかりました。今後そういったことも踏まえて議論を進めていきましょう。他にご意見はございますか。

(委員) やはり本日のヒアリング等を踏まえると、指針の項目よりも、具体的な内容を考えることが先ではないでしょうか。

(副会長) 最初から内容を考えていくと、話がどんどん漠然と広がってしまい、収集がつかなくなるのではないのでしょうか。協働の対象など、今日は3グループに分かれましたが、それだけで充分かどうか議論の余地があると思います。

(会長) 具体的な内容に最初に着手するのでは、広くなりすぎると思います。先に項目をある程度固めていくほうが良いと思いますが、まだ委員の間でも基本方針のイメージができていないように感じます。基本方針や指針は抽象的で一般論ではありますが、すべてに共通する重要なことが定められています。そういう意味では、現在の指針や、他市の事例についてもまだ理解が不十分でしょうから、本日の資料を読み込んで勉強していただきたい。その上で各人の考えや府中として重要なこと、指針に盛り込みたいことを宿題に記載していただきたいと思います。

(※質疑・意見交換終了)

3 その他

(※10月、11月の協議会の開催日時の調整)

(※第6回は、平成25年10月2日(水)午後2時より開催に決定)

(※第7回は、平成25年11月5日(火)午後2時より開催に決定)

(会長) それでは、第6回協議会は10月2日、第7回の協議会は11月5日といたします。次回第5回協議会は9月10日です。

(委員) 第1回の協議会で提案のありました「都市宣言」についてもぜひ検討していただきたいと思います。

(事務局) 基本方針を検討していく中で、「都市宣言」につきましても併せて

協議していただきたいと思います。

(会長) はい。ぜひ協議を進めていきましょう。

(※委員より、グループインタビューの事前調査シートの誤植訂正あり)

(会長) 以上をもちまして、第4回府中市市民協働推進協議会を閉会いたします。